

特集

高齢者の皆さんを応援します ひだまりの会の皆様に聴きました

全国の老人クラブが新規会員加入率の低さによりクラブの会員組織自体が高齢化して、クラブ継続が困難となっています。そんな中、平成22年から高齢者の居場所づくりを目的として運営を開始した「ひだまりの会」が、令和6年3月で活動を休止することになりました。

会の運営をされている皆様にご苦労話等をお伺いしました。



ひだまりの会役員の皆様
(鈴木アケミ代表：右から3番目)

〈活動を始められたきっかけ〉

平成21年頃、高齢者の孤独死が毎日のように話題になっていました。「内田地区からそのような方を出してはいけない」という思いから、当時の民生委員・児童委員、主任児童委員等が主体となって活動を始めました。

〈活動の内容は〉

年に4回程度の頻度で、昼食を挟んでゲーム・手芸・談話・健康体操・野外活動（散策）等を実施しました。参加者は、最大15名程で多くは女性でした。

対象は75歳以上の独居者か昼間に一人になる方で、デイ・サービスなどの公共サービスや介護保険等を利用していない方、精神的に自立している方としました。

〈会員の会費は〉

参加者からはお弁当代として500円を頂いておりました。その他、内田地区自治会と社会福祉協議会から会の運営費を補助して頂きました。

市民と議会をつなぐ特集ページです。
今回は内田地区で高齢者の居場所づくりにご尽力を頂いている「ひだまりの会」の皆様に活動のご苦労等をお伺いしました。



2020/11/19

転倒防止に関する講話（R2.11.19）

〈会員をどのように募集したか〉

地区内のリーダー格の方に対象となる高齢者を紹介して頂いたり、民生委員・児童委員としてのお付き合いから「ひだまりの会」への入会を対象となる方にお勧めをしました。